

課題

- 住民向けの乗り合いタクシーは利用者の自宅から停留所までの移動負担等がネックとなり利用が伸び悩み、費用が増加している。
- 観光向けは、飯山駅を拠点とした冬季の2次交通の確保が課題

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 新幹線等から経路検索によりシェア乗りタクシーを検索、予約、決済
- マイナ連携の交通系ICカードにより、市民割クーポンを認証し、割引
- 市内のタクシー事業者の車両においても、シェア乗りを導入

[モビリティ・データの取得と活用]

- 経路検索や配車アプリ、市民認証等のシステムからモビリティ・データ(予約・決済情報、ODデータ、利用者情報)を活用し、取得する。
- 季節、時間帯、エリアの現状分析、交通空白の課題を可視化し、将来予測のデータ分析を行ったうえで、自治体または事業者の交通政策の運営方法や将来のライドシェア導入等、地域交通の持続性の向上を図る。

[地域交通政策等との連携]

- 飯山市地域公共交通計画では、「乗り合いタクシーの新たな移送方法」「MaaSの導入」「乗り合いタクシーの新たな予約方法」「キャッシュレス決済」の令和7年度中の実証実験が示されており、MaaSアプリを活用した「タクシー」「乗り合いタクシー」のシームレスなサービス提供、予約方法、キャッシュレス決済の実現とともに、運行ダイヤの見直し等、地域交通政策をデータ分析で最適な形にブラッシュアップし、事業者とともに持続可能な交通サービスを実現していく。

効果

- 任意の乗降箇所への対応による公共交通の利用ニーズの増加
- 乗り合いタクシーの新たな移送方法の導入による運行効率の向上
- 公共交通の利用にあたる利用者の負担の軽減

事業の新規性

- 地域住民のマッチング、観光客のマッチングにより、タクシー、乗り合いタクシーをハイブリッドなマルチモーダルに変革し、住民サービス、事業者支援、自治体サービスの高度化と効率化を実現する。
- 観光料金と住民料金を交通系ICのタッチでチェック、スマートなUIで提供する。

事業エリア/交通事業

飯山市のタクシーエリア

/鉄道:東日本旅客鉄道(株) デマンド交通:乗り合いタクシー(タクシー事業者3社)
タクシー:長電バス(株)、長野交通(株)、戸狩ハイヤー(株)
※飯山市内のタクシー事業者は上記の3社

MaaSアプリ等

- MLP、リアルタイム経路検索、Tabi-CONNECT (東日本旅客鉄道(株))
- ID-PORT(JR東日本メカトロニクス(株))
- ニアミーアプリ(株)NearMe

データの活用等

- データの取得方法(配車予約データ、交通系IC認証データ)
MaaSアプリから利用者情報、タクシーのODデータを車載システムから取得
- データの活用方法(地域公共交通活性化協議会での公共交通のリデザイン)
ODデータをLookerStudio上でグラフ及びGISで可視化し、ダイヤ等の検討に活用

座組

スケジュール

